

空自との家族支援協力の中央協定締結

7月26日、自衛隊家族会は、航空自衛隊、隊友会、つばさ会との4者間で、「隊員家族の支援に対する協力に関する協定書」を締結しました。

締結式には航空幕僚長、自衛隊家族会宮下副会長、隊友会折木理事長、つばさ会齋藤会長が出席・署名しました。

この協定書は、隊員家族の支援に関する協力の内容、具体的な調整窓口、情報管理等が規定され、締結した4者それぞれが実効性向上及び関係強化に努めるよう促されています。

協定締結により、陸海空各自衛隊との家族支援協力に関する活動が充実する基盤ができました。締結式の席上、航空幕僚長は、この協定を終点ではなく協力関係構築の出発点であると意義付けられました。

また、宮下家族会副会長は、協定を締結した4者の絆が大事であり、自衛隊がこのような絆に結ばれた、家族を大切にできる態勢にあることを、隊員や家族に周知することが重要であると挨拶しました。

地域内に陸海空各自衛隊すべての駐屯地／基地があるところは僅かですから、部隊と直接調整するにも限界があり、他自衛隊所属隊員の家族との連携も難しいところがあります。地方協力本部とも連携し、各駐屯地／基地等の認識と一致させ、地域の実情に合わせた細やかな活動が期待されます。

